

■山下太郎 実業家。海外油田の開発などで活躍し、戦前は“満洲太郎”，戦後は“アラビア太郎”の愛称を得た。

やましたたろう

帝国憲法発布1889＝

秋田県平鹿郡大森で、近藤正治・みつの長男に生まれる。

祖父母山下太惣吉・ひさの養子となるが、まもなく祖父が死去、祖母の手で養育される。

日清戦争始・1894＝ 5歳：

子規句歌革新1898＝ 9歳：

Bushidou・・1899＝10歳：小学校4年が終わると、東京にいた実父母のもとへ行き、慶応義塾普通部に編入学、

日露戦争終・1905＝16歳：

満鉄発足・・1906＝17歳：札幌農学校(のちの北海道帝国大学)農芸科へ入学。

韓国反日暴動1907＝18歳：

のちに北海道教育大学・帯広畜産大学学長になる田所哲太郎と親友になり、

伊藤博文暗殺1909＝20歳：同校を卒業。

明治天皇没・1912＝23歳：

東京に{山下商会}を設立して、
道産品のアメヤバターの改良を手がけるうち、従兄とオブラートを発明、

第一次大戦始1914＝25歳：

特許を取得し、会社を設立して黒字になるも、
貿易業を志して、権利を売却。

民本主義・・1916＝27歳：

結婚。*深川に{山下商店}を開店、大戦でドイツからの輸入が止った硫安をアメリカから輸入して巨利、

ロシア革命・1917＝28歳：

ウラジオストクで銑缶の買占めに成功し、ロシア革命の煽りは、松岡洋祐の協力得て回避、

本格政党内閣1918＝29歳：

米騒動の際に、中国米を輸入しようとするが、妨害されて、失敗。

大暴落・・・1920＝31歳：

満鉄消費組合との納入契約を一方的に破棄されて大損害を蒙る。

原敬首相暗殺1921＝32歳：

さらに、友人が鉄材購入契約した際、連帯責任者となり、暴落して大負債を抱えるに至る。

護憲三派圧勝1924＝35歳：

*満鉄から代償として、大規模な社宅建設事業を包括受注、これにより“満洲太郎”と呼ばれるようになり、
事業網を、満州・中国・朝鮮へと拡大して行く。

治安維持法・1925＝36歳：

満州事変・・1931＝42歳：

帝人疑獄事件1934＝45歳：

二二六事件・1936＝47歳：

故郷の秋田県大森町に山下乡館を寄贈し、

日中戦争始・1937＝48歳：

健保+総動員 1938＝49歳：

親友の田所が生物化学研究所を設立する際、その資金を寄附するなどしていたが、

日米開戦・・1941＝52歳：

創価学会検挙1943＝54歳：

敗戦・・・1945＝56歳：

＜敗戦＞で、在外資産全てを没収された上、公職追放となり、

官公庁ビルなどの建設を請け負ったりしたが、

三大事件・・1949＝60歳：

解除後、{日産汽船}会長、

独立回復・・1951＝62歳：

メデー事件・ 1952＝63歳：

日本の復興のために石油資源の獲得に奔走、

国連加盟・・1956＝67歳：

{日本輸出石油(翌年日本輸出入石油と改称)}を設立、

なべ底不況・1957＝68歳：

サウジアラビアがアラビア＝アメリカン石油以外にも油田開発の利権を開放するという情報に接して同国へ
赴き、各国の確執のなかで見事に契約を成立させ、

インスツラメン・1958＝69歳：

{アラビア石油}を発足させ、社長に就任。

安保闘争・・1960＝71歳：

*採油に漕ぎ着け、盛名を高め、“アラビア太郎”という呼称を得るに至る。

タイタイ病始・1961＝72歳：

東京リビック 1964＝75歳：

{富士石油}の創設などにも関与し、

美濃部都知事1967＝78歳：

心筋梗塞で、_没した。

インターネット、